

Microchip、サプライ品の識別を可能にする単線式シリアル EEPROM 新製品を発表

電圧レンジを拡張した AT21CS11 により、リチウムイオン バッテリ動作機器への応用が可能に

2017 年 11 月 9 日[NASDAQ: MCHP] – Microchip Technology Inc.(日本支社: 東京都港区浜松町、代表: 吉田洋介 以下 Microchip 社)は本日、動作電圧レンジ 2.7~4.5 V の単線式 2 ピン EEPROM (Electrically Erasable Programmable Read-Only Memory)製品を発表しました。AT21CS11 はカートリッジやケーブル等、電子部品搭載スペースに制約のあるサプライ品の識別と認証に理想的です。

AT21CS11 は一意のシリアル番号が書き込み済みで、5 つの EEPROM メモリセクションで構成されています。これらのメモリセクションは個別に最終製品メーカーが永久にロックでき、これを製品の追跡や付属品の識別に使うことで偽造品の防止に役立てる事ができます。この EEPROM は、製品保証または偽造品対策の観点から正規アクセサリ品のみを許可して製品本体の正常な動作を維持する場合に理想的です。

AT21CS11 は Microchip 社の単線式 EEPROM として 2 番目の製品です。本製品は動作電圧を 4.5 V まで拡張しており、使い捨て医療機器や電子タバコ等のリチウムイオン バッテリ動作機器に適しています。

AT21CS11 は SI/O (Single Input/Output)線でシステムに接続し、通信とデバイスへの電力供給の両方をこのピンで行います。これ以外に必要なのはグランドピンのみで、FTTH (Fiber to the Home)ケーブルエンドメーカーがケーブルタイプに応じて重要なケーブル特性パラメータを書き込む用途にも使えます。3 線、5 線、8 線式の大型ソリューションを使い捨て機器に採用するのは現実的ではありませんが、SI/O 線なら簡単な 2 接点の機械式スナップインまたはツイストオン コネクタとする事が可能です。

分離型のケーブルやカートリッジに EEPROM を内蔵する事により、メーカーは識別と認証の容易なアタッチメントを開発できます。AT21CS11 は 1 K ビットの EEPROM メモリ(256 ビット x4 セクタ)、64 ビットのシリアル番号、ユーザが書き込み可能な 128 ビットの追跡用メモリで構成されます。この 128 ビット領域を使うと、電子機器本体とは別の場所に一意の識別番号と動作パラメータ(例: 消費および使用に関する情報)を追加できます。

「Microchip 社はシリアル、パラレル共に EEPROM 市場をリードしています」と Microchip 社メモリ製品部門副社長の Randy Drwina は述べています。「単線式の製品は、最もシンプルな接続でサプライ品に EEPROM のインテリジェンスを追加できます。」

AT21CS11 の詳細は www.microchip.com/at21cs11 を参照してください。

在庫/供給状況

AT21CS11 は各種パッケージで本日よりサンプル出荷と量産出荷を開始いたします。AT21CS01/AT21CS11 単線式評価キット(製品番号: DM160232)も提供いたします。

Microchip、サブライ品の識別を可能にする単線式シリアル EEPROM 新製品を発表
2-2-2-2

詳細は Microchip 社または正規販売代理店にお問い合わせ頂くか、Microchip 社ウェブサイトをご覧ください。
本プレスリリースに記載された製品をご購入頂くには、Microchip 社のオンラインストア [microchipDIRECT](https://www.microchip.com/direct) に
アクセスするか、Microchip 社の正規販売代理店にお問い合わせください。

リソース

高画質の写真は報道関係専用窓口までお問い合わせ頂くか、Flickr でご覧ください(掲載に許可は不要です)。

- PR 画像: www.flickr.com/photos/microchiptechnology/23926936368/sizes/l
- 製品画像: www.flickr.com/photos/microchiptechnology/37779583131/sizes/l

Microchip 社について

Microchip 社(NASDAQ:MCHP)は、マイクロコントローラ、ミックスドシグナル、アナログ、Flash-IP ソリューションのトッププロバイダであり、全世界で数千を超える各種アプリケーションで、低リスクの製品開発、総システムコストの削減、迅速な商品化の実現に貢献しています。Microchip 社は本社をアリゾナ州チャンドラーに構え、優れた技術サポート、確かな納期、高い品質を提供しています。詳細は Microchip 社のウェブサイト (<http://www.microchip.com>)をご覧ください。

###

Note: Microchip 社の名称とロゴ、Microchip ロゴは米国およびその他の国における Microchip Technology Incorporated の登録商標です。その他本書に記載されている商標は各社に帰属します。

詳細については、以下にお問い合わせください。
Daphne Yuen (Microchip 社): (852) 2943 5115
(メール: daphne.yuen@microchip.com)

大川、仙場 (共同 PR): (03) 3571 5236
(メール: taito.okawa@kyodo-pr.co.jp)

報道関係者の方へ: このニュースリリースのメールによる配信については、共同 PR 株式会社 大川もしくは仙場まで電話(03) 3571 5236 またはメール taito.okawa@kyodo-pr.co.jp でお問い合わせください。